

江戸時代の恋文マニュアルから、大正時代の女学生同士の手紙まで
本の万華鏡「恋の技法－恋文の世界－」公開

国立国会図書館は5月10日（金）に、ミニ電子展示「本の万華鏡」第26回「恋の技法－恋文の世界－」を公開しました。

今回の展示では、江戸時代の恋文のマニュアル、明治時代の恋文の名手にまつわる逸話から大正時代の女学生同士の手紙まで、国立国会図書館所蔵の資料から恋文に関するあれこれをご紹介します。

手紙を書く機会が少ない今日では、恋文もあまり身近なものとは言えないのかもしれませんが、しかし、「あえてすぐには返事を送らないこと」などを説いた江戸時代の手引書をはじめ様々な資料をひもといていくと、いつの時代にも変わらない情熱的な恋心、恋の駆け引き、そして「恋の技法」があったことが見えてきます。

「本の万華鏡」はウェブ上で見る事ができる、会場のない展示会です。電車の中でもご自宅でくつろぎながらでも、お好きな場所でお好きな時間に、「恋文の世界」をどうぞお楽しみください。

■ 取り上げた資料の一部

（下の URL から詳細な画像をご覧いただけます。）



▲ 江戸時代の遊女に向けた恋文の手引書

目次には「二度の客へ遣るふみ」「馴染の客へ遣る文」「しばしこぬ客へ遣る文」等が見えます。
（出典：長松軒『遊女案文』〈請求記号 856-13〉）

▲ 大正時代の少女雑誌『少女画報』

読者投稿ページには少女から少女への恋文とも呼べるような情熱的な手紙が数多く掲載されました。
（出典：『少女画報』15巻8号1926.8
〈請求記号 Z32-551〉）



<https://www.ndl.go.jp/kaleido/>



■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103（直通）